

### ♪バルトーク（セーケイ編）：ルーマニア民俗舞曲

1881年、ハンガリーに生まれたバルトークは、作曲を行いながら民謡の採集・分析にも積極的に取り組み、自身の作曲語法に取り入れ独特の作風を創造しました。晩年は第二次大戦などの影響もありニューヨークに亡命し不遇のうちに没しましたが、現在では20世紀を代表する作曲家の一人として認知されています。ルーマニア民俗舞曲は1915年、彼が34歳の時にピアノ組曲として作曲されました。その名の通り彼が採集したルーマニア各地の民謡をモチーフに作られています。

### ♪ラヴェル：ツィガーヌ

近代フランスを代表する作曲家・ラヴェルによる1924年の作品です。ツィガーヌとはロマ（ヨーロッパ各地を転々としながら生活している民族のこと）を意味するフランス語です。音楽はハンガリーの民族的な舞曲であるチャルダッシュの形式にのっとり、大きく分けて前半の遅い部分と後半の速い部分とで構成されています。ヴァイオリンの表現力を存分に生かした作品に仕上がっていて高度なテクニックが求められます。

## Profile



©Yuji Hori

### 渡辺 玲子 (ヴァイオリン)

Reiko Watanabe, Violin

超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性と幅広いレパートリーで、世界のヴァイオリン界をリードする逸材。1984年ヴィオットィ、86年パガニーニ両国際コンクールで最高位受賞。以来、ロンドン、ウィーン、ドレスデン、ワシントン、ロサンゼルス、サンクトペテルブルクなど世界のオーケストラと共演。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1736年製ガルネリ・デル・ジェス「ムンツ」。

<http://www.reikowatanabe.com>

### 江口 玲 (ピアノ)

Akira Eguchi, Piano

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程及びプロフェッショナルスタディーを修了。欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍する他、数多くのヴァイオリニスト達と共演を重ねている。

現在、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学ピアノ科准教授。ニューヨークと日本を往来して演奏活動を行っている。

<http://www.akiraeguchi.com>



©Rikimaru Hotta

## アトリオン音楽ホールをご利用下いましてありがとうございます

- ♪会場内にカメラ・録音機器を持ち込むことはできません。
- ♪演奏中のホールへの入退場はご遠慮下さい。館外へ出られる際にはチケット半券をお持ち下さい。
- ♪ホール内では携帯電話・タブレット端末等の電源はお切り下さい。電子機器のアラーム、補聴器の不完全挿入などにより異音が生じる場合がありますので、いま一度ご確認をお願いいたします。
- ♪ホール内の飲食・喫煙は固くお断りいたします。所定の場所をご利用下さい。
- ♪音響に特に配慮されたホールですので、演奏者の集中力を損なわないよう、お客様にもご協力をお願いします。お気付きの点がございましたら、ホールスタッフへお知らせ下さい。

## 青少年のためのレクチャーコンサート 名曲を聴こう



2016年

11月11日 金

14:00 開演 [15:20 終演予定]

※このコンサートには休憩がありません。

アトリオン音楽ホール

共催：日本音楽財団、秋田県

Supported by  
日本  
財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

**J.S.バッハ (ウィルヘルミ編) : G線上のアリア**

J.S. Bach / arr. Wilhelmj: Air on the G String

**パガニーニ : モーゼ幻想曲**

Paganini / Moses Fantasy

**フランク : ヴァイオリン・ソナタ 第1・2楽章**

Franck / Sonata for Piano and Violin in A major

I. Allegretto ben moderato

II. Allegro

**クライスラー : ウィーン奇想曲**

Kreisler / Caprice Viennois

**シューベルト : 即興曲 変ト長調 Op.90-3 (ピアノ独奏)**

Schubert / Impromptu Op.90-3

**ショスタコーヴィチ : ロマンズ (映画「馬あぶ」より)**

Shostakovich / Romance from "The Gadfly"

**バルトーク (セーケイ編) : ルーマニア民俗舞曲**

Bartók / arr. Székely: Romanian Folk Dances

**ラヴェル : ツィガーン**

Ravel / Tzigane

**♪J.S.バッハ (ウィルヘルミ編) : G線上のアリア**

音楽の父として知られているJ.S.バッハ (1685-1750) が1722年頃に作曲した「管弦楽組曲第3番 BWV1068」のなかの、弦楽合奏で演奏される第2曲「エアー」は、彼が書いた旋律のなかでもっとも清らかで優美なものといわれています。後に19世紀ドイツの名ヴァイオリニスト、ウィルヘルミが、ヴァイオリンの一番低い弦であるG線だけで演奏できるように編曲したことによって、「G線上のアリア」として広まることになりました。

**♪パガニーニ : モーゼ幻想曲**

ニコロ・パガニーニ (1782-1840) はイタリアのロマン派作曲家。天才ヴァイオリニストとしても知られていて、“5歳から13歳まででヴァイオリンの技術を完璧に習得した”“悪魔に魂を売り渡した”などという噂も流れるほどの腕前でした。ヨーロッパの諸都市を巡った際、その圧倒的な演奏は聴衆を驚かせたそうです。この曲は作曲家ロッシーニが作った「エジプトのモーゼ」というオペラからテーマ (主題) を借用し、変奏曲として書かれたもので、この曲も譜面にはG線のみで演奏するように指定がされています。

**♪フランク : ヴァイオリン・ソナタ 第1・2楽章**

1822年、ベルギーに生まれたフランクは主にフランスで作曲家、オルガン奏者、ピアノ教師として活躍しました。このヴァイオリン・ソナタは、1886年、彼が64歳の時の作品で、同郷のヴァイオリニストで作曲家のウジェーヌ・イザイの結婚のお祝いとして捧げられました。数多くあるヴァイオリン・ソナタの中でも最高傑作に推す声が多い作品で、ヴァイオリン、ピアノが対等に扱われています。4つある楽章のうち本日は第1・2楽章を演奏します。

**♪クライスラー : ウィーン奇想曲**

フリッツ・クライスラー (1875-1962) はウィーン生まれのユダヤ人で、20世紀前半を代表するヴァイオリニスト、そして作曲家としても活躍しました。彼の小品はヴァイオリン・リサイタルのプログラムとして演奏される機会が非常に多く、この曲もそのうちの1つとして広く知られています。奇想曲とは、イタリア語でカプリッチョと言い、形式にとらわれない自由な性格を意味して付けられます。ウィーン風の旋律やウィннаワルツの要素が盛り込まれ、クライスラーの生まれ故郷への郷愁が込められているかのような曲想に仕上がっています。

**♪シューベルト : 即興曲 変ト長調 Op.90-3**

オーストリアの作曲家シューベルトは、1797年に生まれ僅か31歳で亡くなるまでに約700もの歌曲を残したことから歌曲王と称されていますが、ピアノ作品にも優れた作品が多く残されています。即興曲とは自由な形式で書かれた小品のことです。この曲はシューベルトが亡くなる前年、1827年の作品で、本日は全4曲の中から3つ目の即興曲を演奏します。

**♪ショスタコーヴィチ : ロマンズ (映画「馬あぶ」より)**

ショスタコーヴィチ (1906-1975) は旧ソビエト連邦 (現在のロシア) の作曲家で、15も残されている交響曲が特に有名です。このロマンスは、ロシア映画「馬あぶ」のために作られた音楽の中の一曲です。単体で演奏されるケースも多く、その美しいメロディーのため、フィギュアスケートの音楽として用いられることもあります。